

平成20年度 佐賀大学有明海総合研究プロジェクト 成果公開シンポジウム

2009年5月23日(土) 9:30~16:30

会場／佐賀大学理工学部6号館(本庄キャンパス)
都市工学科大講義室(1F)・多目的セミナー室(2F)

主催／佐賀大学有明海総合研究プロジェクト
お問い合わせ／

佐賀大学有明海総合研究プロジェクト事務局
〒840-8502 佐賀市本庄町1番地

電話・FAX: 0952-28-8846

<http://www.ariake.civil.saga-u.ac.jp/index.html>



佐賀大学
有明海
総合研究
プロジェクト



写真提供 中尾 勘悟氏(写真家)



ACCESS

- 佐賀駅バスセンターからバスで約20分
「4番のりば」から市営バス11番相応行又は、12番東与賀行で「佐大前」下車。
「4番のりば」から市営バス63番佐大前行で「佐大前」下車。
- 佐賀駅からタクシーで約15分
- ◆ 駐車場は余裕がありますので、マイカーでご来場いただいても結構です。



昭和40年頃の有明海

写真 安永真一氏(故人) 提供 野田律子氏

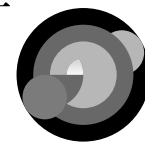
開催日：2009年5月23日（土）

会場：佐賀大学本庄キャンパス理工学部6号館
1階都市工学科大講義室

9:00～ 受付

9:30 主催者挨拶

9:40～12:30 コア研究1 成果発表



佐賀大学
有明海
総合研究
プロジェクト

◎環境物質動態研究部門

- ・部門全体の成果概要説明
- ・有明海・諫早湾における底泥の再懸濁・沈降に関するマッピング
- ・有明海底質細胞外ポリマーの底質安定化への効果に関するレオロジー解析
- ・有明海湾奥部干潟域のベントス群集

原田浩幸
山本浩一
原田浩幸
吉野健児

◎干潟底質環境研究部門

- ・部門全体の成果概要説明
- ・Landsat-5号TMによる有明海の海面濁度分布の観測
- ・佐賀県沿岸域における覆砂の効果と持続性について
- ・夏季の有明海水中の鉄の濃度変化とプランクトン発生

田端正明
瀬口昌洋・郡山益実・申 龍熙

原口智和・加藤 治・鶴丸雅之・瀬口昌洋・郡山益実
田端正明・Abdull Ghaffar・保見真悟

－休憩－

◎環境モデル研究部門

- ・部門全体の成果概要説明
- ・有明海流入陸域モデルの構築に関する検討
- ・有明海を対象とした懸濁物モデルの構築とその成果
- ・有明海奥部における物質輸送と低次生態系の動態について－4年目の成果－

速水祐一
大串浩一郎
濱田孝治
速水祐一

－昼食－

13:30～14:20 ポスターセッション（2階多目的セミナー室）

14:30～15:50 コア研究2 成果発表

◎微生物相研究部門

- ・部門全体の成果概要説明
- ・*Vibrio vulnificus*に感染するバクテリオファージの検索
- ・有明海における微生物相解析

神田康三
神田康三
小林元太

◎食水系感染症研究部門

- ・部門全体の成果概要説明
- ・ビブリオ・バルニフィカス感染症対策－臨床医学的アプローチ（第四報）－
- ・ビブリオ・バルニフィカス感染症対策－基礎医学的アプローチ（第四報）－
- ・壊死性筋膜炎症例に対するPMX-DHP療法について

中島幹夫
中島幹夫
大石浩隆
松本浩一

15:50～16:30 コア研究3 成果発表

◎地域文化・経済研究部門

- ・部門全体の成果概要説明
- ・有明海から出かけた朝鮮海出漁(予報)：実態と有明海漁撈技術の影響と伝播
- ・有明海沿岸漁民の環境利用とその認識

山下宗利
武田 淳
藤永 豪

16:30 閉会の辞